

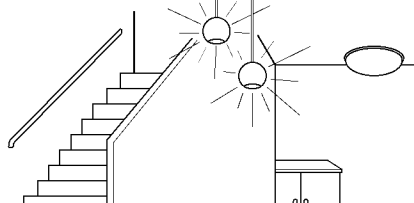
■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

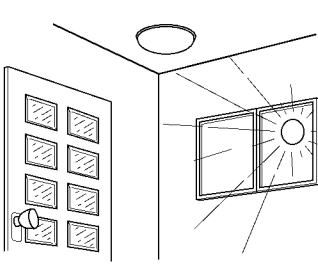
2 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。

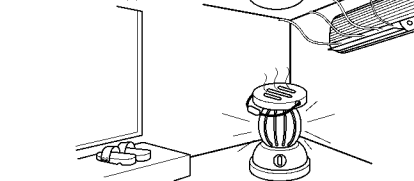
白熱灯照明器具の近くには取付けないでください。



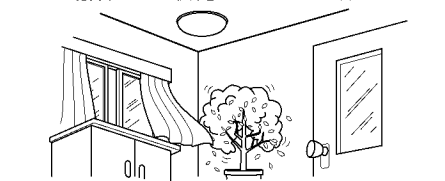
太陽光線や強い光が入る場合は、誤作動することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。



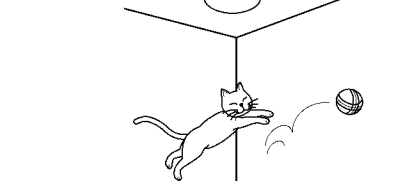
ストーブなどの高温熱源付近やエアコンなどの風のアたる場所には取付けないでください。



感知エリア内に障害物や風などでよく揺れるもの(植木、カーテンなど)のある場所には取付けないでください。



感知エリア内に小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。



- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

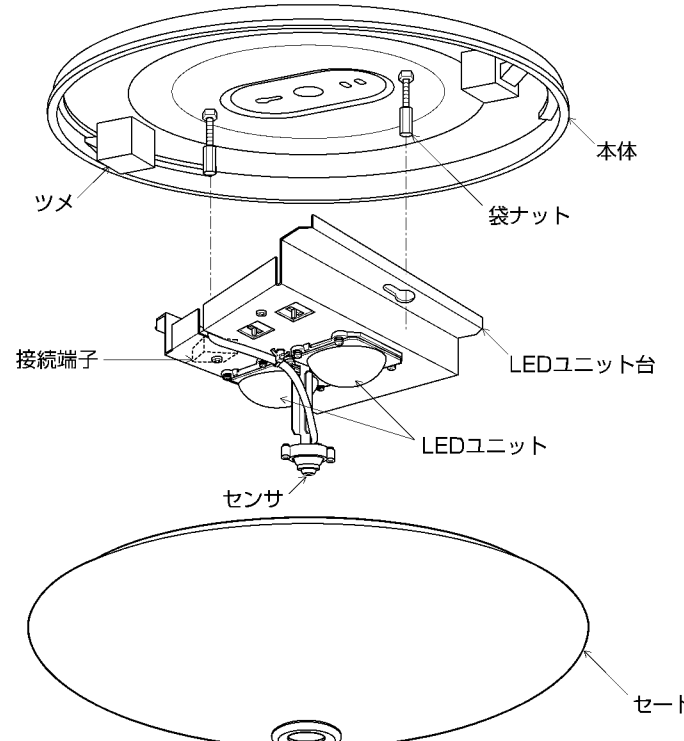
3 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

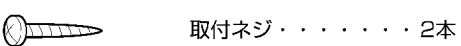
※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

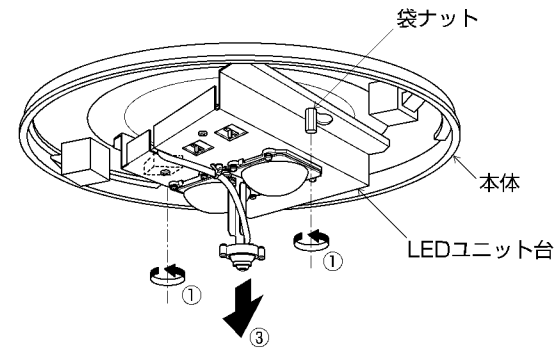
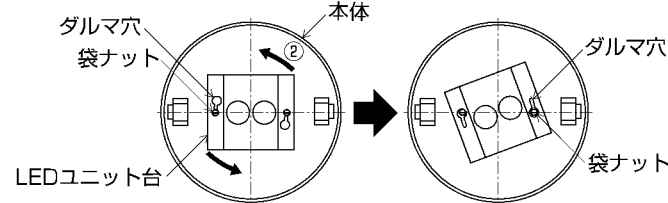


〈付属部品〉



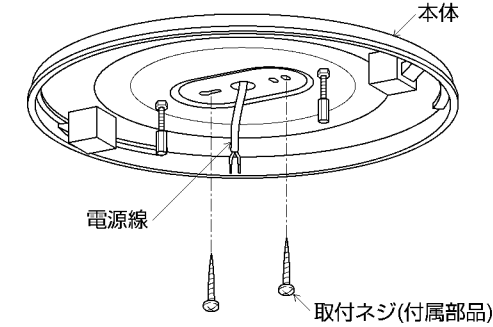
1 LEDユニット台を外す

本体の袋ナットをゆるめ、LEDユニット台を回転させて取外す。



2 本体を取付ける

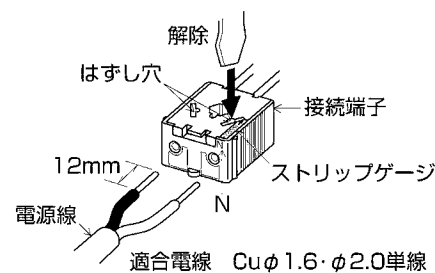
本体に電源線を通し、付属の取付ネジで取付ける。



3 電源線を接続する

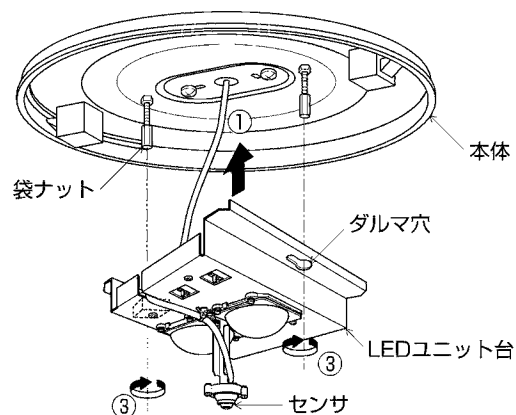
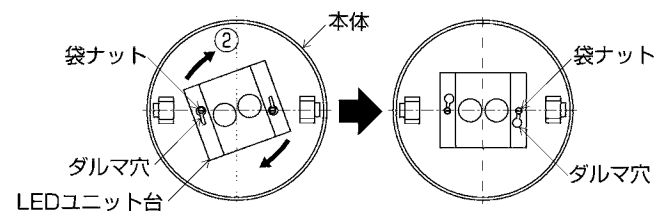
ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

△ 警告 電源の接続を確実にこなしてください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



4 LEDユニット台を取付ける

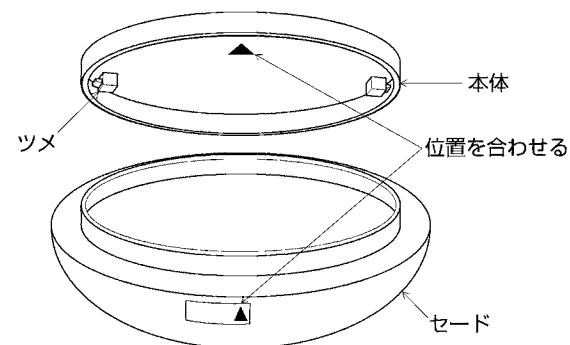
LEDユニット台のダルマ穴を本体の袋ナットに合わせ、LEDユニット台を回転させ、袋ナットを締め付けて固定する。



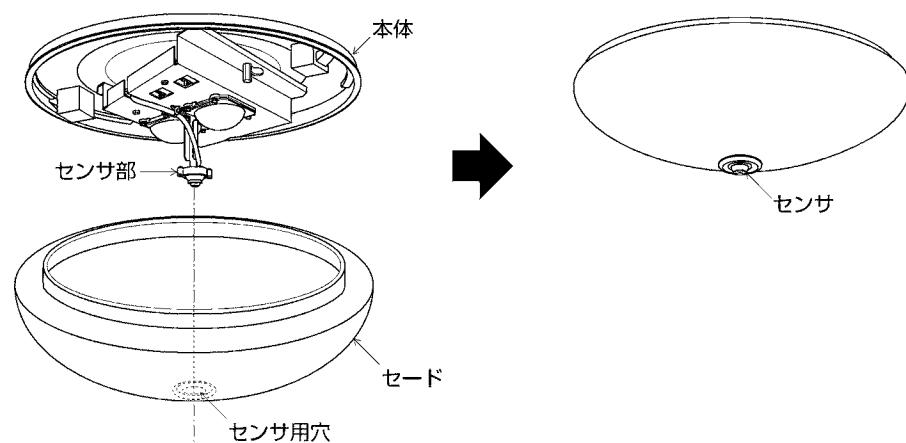
5 セードを取付ける

セードと本体の矢印を合わせ、まっすぐに持ち上げて確実に取付ける。

△ 警告 セードが確実に取付いたことを確認してください。
取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



※取付けの際、セードのセンサ用穴をセンサ部に合わせてください。
破損の原因になります。



6 点灯の確認を行なう

■センサの内容

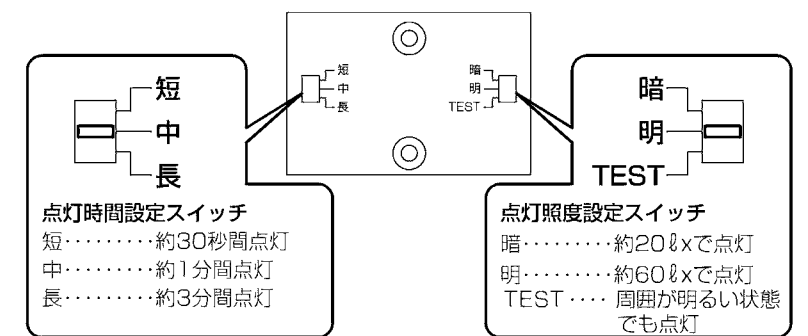
センサ部について

<点灯時間設定スイッチ>

人を感知して点灯する時間の設定ができます。

<点灯照度設定スイッチ>

人感センサのはたらきはじめる周囲の明るさの設定とセンサの動作確認(TEST)ができます。



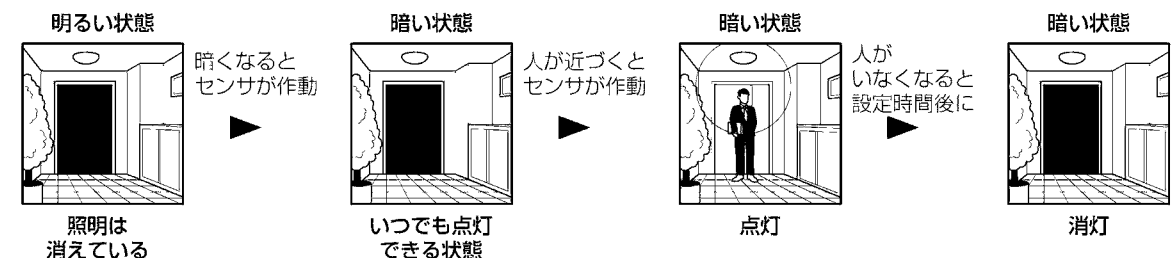
■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで点灯照度と点灯時間を設定してください

●センサの動作について

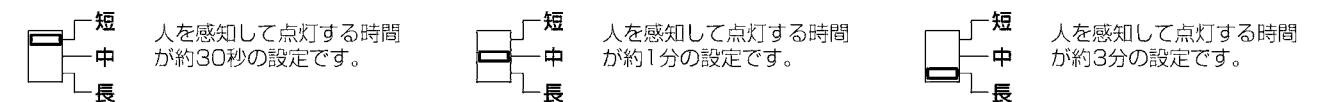
<センサ待機モード>

人が近づくとセンサが感知して点灯します。
※電源投入後は約45秒点灯してからセンサ待機モードになります。

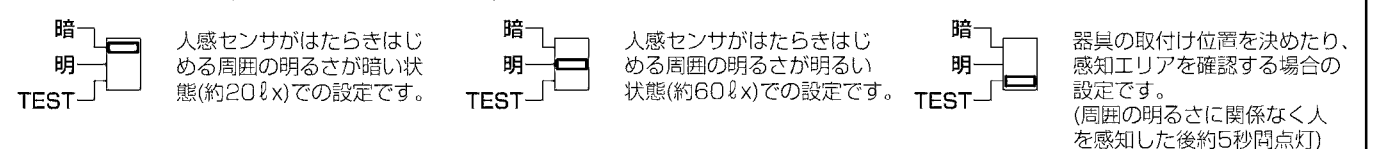


●点灯時間について(点灯時間設定スイッチ)

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



●点灯照度について(点灯照度設定スイッチ)



※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

右図のように点灯照度設定スイッチを「TEST」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

①電源投入後、約45秒間、点灯します。

②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約5秒間点灯します。

壁スイッチをONにする → 周囲の明るさに関係なく 照明は約45秒間点灯 → 一旦消灯 → 感知エリア内で人を感知すると 約5秒間点灯 → 約5秒経つと 消灯

点灯照度設定スイッチ
暗
明
TEST

※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

●縦方向

●横方向

縦方向

横方向

※取付け高さは器具その面が床面から2.5m以内になるようにしてください。

※器具取付け位置は感知エリアを十分検討の上設定してください。

※センサに向かったの動作では感知しにくい場合があります。

※エリア確認後は必ず点灯照度設定スイッチを「明」または「暗」にしてください。

●壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

<連続点灯モード>
長時間(8時間)連続点灯します。

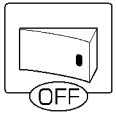
●この器具は、センサ待機モードと連続点灯モードを壁スイッチを使用して切り替えることができます。

※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。
壁スイッチを使用しないとモードを切り替えることはできません。

※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。

電源OFF

壁スイッチ



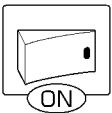
壁スイッチ：OFF
ランプ：消灯

※ご使用の壁スイッチが、押しボタン式など電源のON・OFF状態がわからないタイプの場合は、下記の操作を確実にこなしてください。

人を感知して点灯させたい

センサ待機モード

壁スイッチをONにします。
ランプが約45秒点灯してからセンサ待機モードになります。



壁スイッチ：ON
ランプ：点灯できる状態

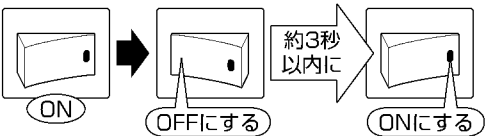
点灯照度：約20lx～60lx
点灯保持時間：約30秒～3分

※連続点灯モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFF→ONと約3秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。

長時間(8時間)点灯させたい

連続点灯モード

壁スイッチをONにします。
再度OFF→ONと約3秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。



壁スイッチ：ON
ランプ：点灯

※連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサ待機モードに戻ります。また、連続点灯中に壁スイッチ操作(約3秒以内にOFF→ON)を行なった場合、再度その時点から約8時間の連続点灯モードになります。

※連続点灯は周囲の明るさ・人体感知に関係なく点灯する状態です。

※センサ待機モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFFにししばらく(約5秒以上)してからONにすると、約45秒点灯してからセンサ待機モードになります。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離れてご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。
壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。